平成３０年度　教育指導重点目標

福岡県立三池工業高等学校

教育目標

平和的な国家や社会を形成するため、真理と正義を愛し、豊かな心を持ち、たくましく生きる心身ともに健康な工業技術者を育成する。

学校運営方針

社会的自立の基盤となる、学力、体力、豊かな心を培うとともに、社会の変化に対応し、社会に「知恩感謝」の念を持ち、社会を支え、その発展に寄与する力を有したグローバルな工業技術者の育成を図る。

本年度重点目標

1　学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善に積極的に取り組み、粛然とした授業規律のもと、確かな学力を育成する。特に、自学力（自分で学ぶ力、自ら学ぶ態度）の育成とアクティブラーニングを推進し、生徒が主体的・対話的で深い学びを通してたくましく生きる力を育成する。

2　一人ひとりの個性、各科の特色を生かしながら、ものづくりへの態度を育て、工業高校生としての技術力の向上を図る。特に、資格取得、各種コンクール等への組織的、系統的な指導を推進する。

3　学校行事、生徒会活動、部活動等を通して、チーム力を鍛え、挑戦させ、認め、評価することで生徒の可能性を伸ばし、心身ともにたくましい生徒を育成する。特に、部活動の活性化により、学校生活の充実を図る。

4　道徳教育を推進し、規範意識・人権尊重の精神を涵養し、自律心と思いやりの心にあふれた生徒の育成を目指し、生徒の自己指導能力の伸長を図る。特に、基本となる指導内容の統一を図る。

5　いじめ問題等については、いじめ防止対策推進法に基づき、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応を徹底し、安全・安心な学校を目指す。

6　自己の在り方生き方を深く自覚させ、目標に向けて努力する学校生活の実現に向け、キャリア教育を組織的、体系的に推進する。特に、第１学年からの系統的指導を展開する。

7　専門高校として、生徒一人ひとりの希望と適性に応じた進路指導、職業教育を推進する。生徒の進路実現（第一希望　１００％）を目指す。

8　国際的視野を備えた工業技術者を育成するため、英語コミュニケーション能力の向上を図るとともに、世界を舞台に活躍する高い志を育成する。特に、社会のグローバル化に対応した教育活動を展開する。

9　これからの時代を生きる生徒たちのために、デジタル機器を積極的に活用するなど先進的な学習、指導方法を推進する。

10　地域に開かれた学校づくりの核として、学校行事を活性化させ、それを通じて、地域住民の「顔見知りの関係」「学校・地域への関心・理解」「課題を共有する関係」を深めていく活動を推進する。

本校の将来のビジョン（今後のわが校の教育改革）

本校は、創立以来、有為な職業人の育成等で社会に大きく貢献してきた。特に実践的技術者の養成を中心に、我が国の産業の発展への寄与は極めて大きいものがある。しかし、少子化や若者における「ものづくり」への関心の薄れなど、本校を取り巻く状況には厳しく、学級数や学科の在り方など学校改革も視野に入れ、本校の教育力の維持・向上を図る必要が迫られている。さらに、国際化、情報化、科学技術の発展等、社会の変化は急激であり、その変化に対応する教育の在り方を構築していかねければならない。

したがって、本校の将来像を確立し、特色ある学校を築くことは喫緊の課題となっている。

そこで、本校が目指す将来像を以下のように提示する。

本校の将来像

生徒・保護者・地域のニーズに応え、各科の特色化を推進し、生徒一人ひとりが自信と誇りをもつ魅力ある学校づくりを目指す。

（1）３系の特性を生かして、幅広い基礎・基本的な知識を身に付け、「ものづくり」等の実践の基礎を育む学校。

（2）５科それぞれの専門性を生かして、一人ひとりの生徒が工業に関する基礎・基本的な知識と技術を習得するとともに得意分野を身に付け、「ものづくり」等の実践を通して豊かな感性と創造性を育む学校。

（3）大学進学等の多様な進路希望にも対応できる学校。

（4）少人数、習熟度別、選択制などのクラス編成により生徒の多様なニーズに対応できる学校。

（5）入学者全員が「自覚努力」の精神を持ち、個性を開花できる学校。

（6）社会の変化に対応できる汎用的な能力、高度な技術を育むことができる学校。

（7）社会に「知恩感謝」の念を持ち、我が国と郷土を愛し、社会に貢献する工業人を育成する学校。